



生産者と商談する料飲業の方々



実施に向けて種々検討中

**会社概要**

住所／鹿児島市平之町6-2-1F  
電話／099-223-3331  
代表者／支部長 岩重一郎  
設立／1975年 活動内容／経営に関する相談・組合を窓口とした融資制度・各種情報の提供など

**鹿児島県料飲業生活衛生同業組合鹿児島支部****Topics****旅行者も驚く「薩摩ンダモコーラ料理」を開発中**

2011年春の九州新幹線鹿児島ルート全線開業を見すえた、官民共同の取り組みが始動。第一弾としてこの春（3月1日～4月4日）、参加12店で「薩摩ンダモコーラ料理」が登場する。「ンダモコーラ」は驚きを表す鹿児島弁で、地元に伝わる「ちゃんむしの歌」でおなじみだ。各店が趣向を凝らした地産地消メニューは、鹿児島のおいしさがいっぱい詰まつた自信作。「五感を楽しませてくれる食事はきっと鹿児島旅行の忘れられない思い出となるはず」と橋本龍次郎さん（南洲館）は期待する。店舗と鹿児島地域振興局、県特産品

は、鹿児島のおいしさがいっぱい詰まつた自信作。「五感を楽しませてくれる食事はきっと鹿児島旅行の忘れられない思い出となるはず」と橋本龍次郎さん（南洲館）は期待する。店舗と鹿児島地域振興局、県特産品

**消費者の声● USER@VOICE****山形屋での「かごしまふるさと祭り」にご来場のお客様へ聞きました****「半次郎」関連商品を作ってみませんか!!**

当協会では、鹿児島の地域や歴史に根ざしたストーリー性のある魅力あふれる特産品づくり・商品づくりを促進するため、今年9月から放映予定の映画「半次郎」〔薩摩郷土 中村半次郎（後の桐野利秋）の半生を描いた映画〕に関連する商品開発を支援します。

①中村半次郎が着用、使用、または食していた物の復刻商品、②半次郎が今の時代に生きていた場合、着たり、使ったり、食べてほしい商品などを開発し、販売してみませんか？

映画「半次郎」製作事務局が管理するロゴも使用（有料）できますので、是非、ご活用ください。映画関連の宣伝媒体等でのPR、上映館での展示・販売等により、宣伝・販売の支援も行い、今年2月末には関連商品の発表会も実施する予定です。

**会員の声● MEMBER@VOICE****特産品モニター求評会に参加して**

● 百円茶屋のアイデアが良い。焼酎も百本売り以外に10本売り、20本売りと買いややすくするともっと良い。（60代女性）

● 鹿児島の生産者が元気づくように、また、県民が誇りをもつて元気に鹿児島県産の良さをもっととピアーアールして、来店者が多く来るよう願う。（60代女性）

● 特定保健用食品であることをもとと前面に出して、紹介していただきたい。（農産加工品製造業）

**会社概要**

住所／鹿児島市中央町16-9  
電話／099-285-2300 創業／2003年  
代表者／上野剛  
店舗／黒かつ亭（本店・天文館店）、黒べえ（天文館店）  
URL／http://www.kurokatutei.net/

鹿児島黒豚専門店「黒かつ亭」「黒べえ」を開拓するエクセルフーズが、ユニークな黒豚肉まん「黒ぶた侍」を開発。「2009かごしまの新特産品コンクール」で県知事賞（食品部門）に輝いた。黒豚の顔を模した見た目が笑顔を説く。黒い皮は竹炭ハウダーの天然色。餅粉を混ぜてモッチリとした食感の皮の中には、ジューシーな黒豚の具が詰まっている。1月から天文館店（山下町2-2 電話213-9600）で発売予定だ（3個入り1050円）。社長の上野剛さんが商品企画したのは2年前。鹿児島中央駅近くの本店で、テイクアウトの

多方面から客観的に考えるよう心掛けている。でもいくらいものであっても、売れるとは限らない。お客様が購入したいものかどうか、常に年齢・性別などあらゆる客層を想定して、後にターゲットを絞り込んでいます。「黒ぶた侍」開発時にアルバイトまで広く意見を求め、販売方法やディスプレイなど学ぶことが多いので、県外の物産展には出展するようになります。そこで人気のある店を見つけて参考にします」と上野さん。「いろいろ試して失敗したり：毎日その繰り返しですよ。でもそこから成功が生まれるんじゃないかな。」

**エクセルフーズ株式会社****製品力****鹿児島の魅力が詰まつた黒豚肉まん「黒ぶた侍」****Topics****家族代々で大切に伝えてきた郷土玩具****匠力****鹿児島神宮信仰玩具製作所 工房みやじ****Topics****会社概要**

住所／霧島市隼人町内山田3-21-20  
電話／0995-42-3205  
代表者／花見ユリ子  
製品／鹿児島県伝統的工芸品指定の鯛車・香箱・初鼓。そのほか郷土玩具の弓矢・竹刀・羽子板・笛太鼓・はじき猿・シタタキタロジョ

鹿児島神宮にほど近い場所に「工房みやじ」がある。ここで花見ユリ子さんが先祖代々伝わる工芸品を作っている。神宮のご神体である山幸彦と豊玉姫にまつわる玩具で、健やかな子どもの成長を願う「鯛車」「香箱」。畜産振興を祈るご神事・初午祭の風物詩ともよべる「初鼓（ポンパチ）」は鹿児島県伝統的工芸品に指定されている。「はつきりとした記録は残った後にターゲットを絞り込んでいます。その後、人気のある店を見つけて参考にします」と花見さん。「いろいろ試して失敗したり：毎日その繰り返しですよ。でもそこから成功が生まれるんじゃないかな。」

作ることはできるが、その時に応じて手分けするのだという。「物心ついたときはもう父を手伝つていました。寒い仕事場でしたが、母が火鉢を用意してくれて：みんな一緒に作っていました。娘の森山かおりさんが工房では今、娘の森山かおりさんが修業中だ。「祖父を手伝いながら、神宮や玩具にまつわるいろいろな話を教えてもらいました」。伝統は確かに次の世代へと伝えられている。